

## みやぎ生協 福祉活動助成金 助成活動報告書

団体名	みやぎっ子『食』・『農』くらぶ	
代表者名	三浦 ルミ	
連絡先	TEL : 090-5181-9131 / 05035805003 FAX : 0222599003	E-mail : miyagi.ko.syokunou@gmail.com

## 1、助成事業報告

助成を受けた事業名	みやぎっ子『食・農みらいプロジェクト ～ ステップ ～ 』
事業の目的	<p>『農業体験』や『食育活動』を通して、宮城県の子どもの食育力を高め、健全な発育・成長の促進をサポートする活動を実施する。</p> <p>東日本大震災で津波被害を受けた『仙台市沿岸地区』を主会場にすることにより、被災地の復興の現状や復興へ向け努力してきた地域住民の『今』を、多くの子供たち・家族に知ってもらおうとともに、より多くの家族が、復興を遂げている被災地に足を運びやすいきっかけ・環境を作る。また、地域住民との交流の機会を通して『繋がり』を作れる活動を実施する。</p>
事業の具体的内容	<p>月に1～2回のペースで、仙台市沿岸地区の農地にて、親子で一緒に楽しく学べる『農作業体験』を実施。(野菜の植え付け・収穫・管理、米の栽培等) また、活動を通して収穫した野菜や米を使い、『料理教室』等の食育活動も併せて実施する。活動には、当該地域の住民や農業従事者の方を『サポーター』として呼びし、交流が図れる機会を多く作り、参加者に震災復興を成し遂げつつある活動地域の現状を知ってもらうことで、地域福祉の向上を目指す。令和3年度、農業体験企画を10回程度、食育・地域交流・職業体験イベント等を10回程度実施する計画となっている。</p> <p>令和3年度は『コロナ対策』として、現地に集まる活動だけではなく、オンラインや動画を活用し、より多くの子供たちへ食育・農育情報を届ける。</p>

活動の開始から完了までの流れ

#### 4/1～6/30 N-1 (にんにくワン)、にんにく栽培チャレンジ

コロナ禍で農地に集まることが難しい方を対象に各家庭で野菜(にんにく)栽培を行う取り組み。参加者: 33家族(65名)。長期間、自宅で親子が野菜の成長を楽しみ、また、収穫物を使った料理の方法や、にんにくの歴史等をオンラインを活用しサポートした。

#### 5/23 田植え体験・サツマイモ植え付けイベント

活動地区のビオトープ自然農園にて、宮城米『ササシグレ』の植え付け。午後からはさつま芋の植え付けも行う。参加者: 29名(時間差活動を導入)

#### 6/1～6/30 農作業体験を家族単位で行う取り組み

コロナ禍により大人数での活動が難しいため、土日に2時間単位、各家族単位での農作業体験を行った。(春野菜の植え付け、野菜収穫等)参加者: 17組39名

#### 7/4 農作業イベント(野菜収穫体験)

玉葱、白菜、大根の収穫体験を実施。コロナ禍により野菜の出荷が滞っていた地元の農家さんの支援と、子供たちの農作業体験をマッチングする取り組み。地元農家さんにとっても子供たちとの交流が持てたことによる喜びが大きく、以後の活動の協力が得られた。参加者28組64名(時間差活動制度にて)

#### 7/25 食育・農育イベント

活動農地にて、野菜の収穫体験を行い、その野菜を使ってピザを作り食べる企画を実施。トマトやピーマン、なすを収穫し、自分でピザ生地も作り石窯で焼くという繋がりのある一貫性を持った食・農イベントを行う。参加者11組25名

#### 8/8～9/30 農作業体験を家族単位で行う取り組み

コロナ禍ということで、集団活動を控え、土日・夏休みを利用し1回あたり2時間単位、各家族単位での農作業体験を行った。活動の内容は参加希望の保護者と相談し、参加家族の年齢、実態、希望と“畑で出来ること”をマッチングさせる。集団では難しい個別の丁寧なサポート、ケアが行えた。参加者: 44組101名(+見学希望者等の受け入れも同時に実施)

#### 9/24 食育・農育イベント

宮城県の伝統野菜“まがりネギ”を栽培するため、長ネギの種まき体験を実施。専用の農機具を使い6,000粒の種を子供たちが種を撒いた。

その後、畑の野菜や地元農家さんから提供を受けた野菜を利用し芋煮を調理、試食する食育活動も併せて行う。参加者: 14組33名

#### 9/1～10/30 S-1(しいたけワン)、しいたけ栽培チャレンジ

コロナ禍でも、家庭で親子が野菜の栽培等を楽しめる取り組みとしてきのこ栽培を行う取り組み。参加者: 19家族。

家庭できのこ栽培が出来るキットを活用し、栽培方法や進め方をサポートするとともに、収穫したしいたけの活用、保存法などをオンラインにてサポート。参加した方からはかなり高評

	<p>で盛り上がりを見せるとともに取材依頼などもあった。</p> <p><b>10/9 農育イベント</b>      稲刈りイベントを実施。5月に自らの手で植えた稲を、鎌を使い刈り取る体験。昼食では、仙台長ねぎを使ったネギ汁のおふるまい。地域の方々、地元の農家さん、ボランティア学生などが参加し交流を図ることも出来た。</p> <p><b>10/24 食育・農育イベント</b>      玉葱の植え付けと昨年収穫し保存していた玉ねぎを使い作るドレッシングづくり教室を実施。参加者：27名</p> <p><b>10/30 食育・農育イベント</b>      仙台の伝統野菜“まがりネギ”のやとい作業体験。一度植えて育てていたネギを、再度植え直す“やとい”の作業を体験してもらおう。その後、畑の野菜・仙台牛を使った『農地でBBQ』イベントを行う。参加者19名。</p> <p><b>11/13 食育・農育イベント</b>      さつまいも収穫体験と焼き芋を実施。5月に植えたさつまいもの収穫体験と、事前に収穫し熟成をしていたさつまいもを使い『焼き芋』を行った。参加者23名。</p> <p><b>12/5、12/12</b>      小規模にて農作業体験・収穫体験を実施。参加者34名。</p> <p><b>12/18 職業体験企画</b>      子供たちが種を撒き、栽培、収穫した野菜を、袋詰めして実際にお客さんに販売する職業体験企画を行う。コンビニでブースを作らせていただき、販売を行うことで、子供たちの成長、体験から得られる思い入れの増強を図った。</p>
<p>活動の成果と教訓</p>	<p>コロナ禍のため、予定や年間活動を立てづらい状況での1年だった。また、『安全対策』の徹底や『活動提供方法』の見直し、『スタッフのかかわり方』など、今までとは違ったアプローチが必要だった。しかし、コロナ禍でもより安全に、質の高い活動を行い、食育・農育力を途切れさせないという目標が達成できたことは大きな成果である。</p> <p>大人数で集まるのが難しい世相のため、個別対応を多く取り入れた。また、『時間差』や『人数制限』などの工夫『オンラインの活用』といった新たな取り組みを取り入れ、それがうまく実施出来た年でもあった。これらは、コロナ禍が終わった後にも団体の活動の質を高めるものになると実感できた。</p>
<p>今後の展望など</p>	<p>コロナのように人が集い活動することが出来ないときでも、各家庭や家族単位で農育・食育が達成できるツールの開発とその支援法を模索していくことで、今後の団体活動と団体目的達成が充実していくと考えられる。オンラインの活用や目的達成のためのツールをキット化するなどして個別の家族支援も同時にできるようにしていきたい。また、それらが充実することで、全国の子供たちや遠方での食育・農育支援への可能性も見いだせると考えている。</p>

## 2、助成金使途報告書

### ■ 収入の部

確保した資金内容	金額 (円)	備考
福祉活動助成金	500,000 円	
参加費収入	125,880 円	イベント・教室 名分
作品売り上げ	322,564 円	野菜等販売収入
雑収入	599,738 円	助成金等 (赤い羽根、日本 財団)
自己資金	0 円	
合計	1,548,182 円	

### ■ 支出の部

助成金  
利用  
支出

費目	内容	予算額 (円)	実支出額
物品費	農作業用資材、道具等費用	150,000 円	185,915 円
消耗品費	種・苗等購入代、肥料・堆肥・培養土等購入代	250,000 円	475,328 円
講師謝礼	農業体験、食育体験等教室・イベント時講師謝礼	100,000 円	114,833 円
	<b>【助成対象外費用】</b> ・食材料費、旅費交通費、賃借料、通信費、雑費、接待交際費、損害保険料、予備費、研修費業務委託費(動画撮影・編集・データ管理業務委託費)	860,000 円	531,153 円
合計		1,360,000 円	1,307,229 円

自己財  
源等  
での  
支出

## 3、送付必要書類

- ① 福祉活動助成金 助成活動報告書  
プリントアウトしたものを1部郵送、データもメールでお送りください。
- ② 領収書のコピー (郵送)
- ③ 成果物 (活動の様子がわかる写真、または事業で作成したものを郵送)  
\*写真は郵送とメールで送ってください。

# ビオトープ水田で『田植え』をしました！

コロナ禍のため、人数の制限をした活動となりましたが、今年も無事に『田植え』をすることが出来ました。

今年もカントリーパーク新浜にて、無農薬・無化学肥料でのお米の栽培です。

生き物がたくさんいる水田で、みんなに、『食』・『農』・『環境』について触れて、感じて、学んでもらいました。

素足で泥田の中に入る。という体験が、現代社会でどれだけ価値があり、学びが大きいことか。それを親子で体験でき、年間を通して触れることが出来、食や環境の学びに繋がられる。

とても素敵な企画です。

稲刈りまで無事に育ってくれますように！



## 親子で玉ねぎ収穫体験☆

7月4日(日曜日)無農薬農家さんに御協力いただき 玉ねぎの収穫体験をさせていただきました☺

こちらの農家さんは、無農薬と使用する肥料に特にこだわりをもっており、野菜一つ一つが安全で美味しく食べる事ができるように畑の管理をしています。そんな大切に育てられた玉ねぎをなんと収穫させていただきました！

ぬきたい玉ねぎを畑から探して親子で力を合わせて収穫👉子供達は、土の中から出てくる野菜の収穫が大好き👉宝探ししているようで楽しいらしい！！

収穫後は、長期保存ができるよう紐で玉ねぎを結ぶところまで教えていただきました。

子供達が大喜びしていたので、人参やきゅうりの収穫体験までさせて頂きましたよ☆.\*

帰り際には、みやぎっ子の畑で収穫したサニーレタスとトマト、無農薬農家さんの玉ねぎときゅうりの一口サラダのお土産も🍷

実はね、このサラダにかける玉ねぎドレッシングをイベント前日に作っていたんですよ👉

冷蔵庫に忘れちゃったの☺

結局、ドレッシングを泣きながら3種類買って

サラダにかけて貰ったんです☺

野菜が苦手な子供達もおかわりする程 美味しかったようです👉収穫したての野菜は美味しいんだよね🍷

今回も普段はできないような貴重な体験ができました👉雨が降ったり止んだりのお天気でしたが そんな事を忘れるくらい素敵な笑顔の花が畑に咲きました☺

御協力頂いた農家さんありがとうございました m(\*\_\*)m



# 『畑の野菜でピザを作ろう』

7月25日(日)『畑の野菜を収穫してピザを作ろう』のイベントを開催しました。

このイベントは 毎回大人気で すぐに予約が満員になってしまうイベントです。

ピザ生地は、粉からコネコネタイプと既製品の2つのタイプから選べるようにしましたよ。子供達には、コネコネタイプの方が人気でした☆

ジップロックに入った粉をコネコネして、楽しそうにのばしてました( ^\_^ )

今年もトマトソースは手作り👍

トマトは、アイコ、フルティカ、プチぷよの三種類🍅

みやぎっ子の畑で育ったトマトを贅沢に使用👍

隠し味で入れたニンニク、玉ねぎもみやぎっ子の畑の収穫物です。二日前から煮込みに煮込んで、最後に粗めの玉ねぎと荒く潰したトマトも入れました。これが、甘くて美味しいの🍅

🍷 ピングの玉ねぎ、ピーマン、ナス、バジルも畑で収穫した野菜たちです

トマト、ピーマン、ナスは、冬の2月からコタツを使って種から発芽させましたよ。このピザイベントの為に(笑)☆

子供達は、好きな具を好きなだけピザの上にこれでもかかってくらいつけていましたよ(笑)お店では絶対に売っていない自分が食べたい自分だけのピザです👍

その後は、ピザ職人の待つ畑のピザ窯へGO👍

たったの2分で焼けちゃいます👍

カリッと焼きあがったピザは

コロナ禍の為、今年はテイクアウトの箱を準備してお持ち帰りになりました。



🍷 たてのピザを畑で食べて欲しかったな～

コロナが無ければ、種まき～野菜のお世話、収穫、調理、食べるまでを親子で楽しみながら体験して欲しかったなあ～。こんな素敵な経験ってなかなか出来ないと思うんだあ～☆

「コロナが無ければ」なんてそんなことばかり言っても仕方がないので、コロナの対策をしっかりしてこれからも食育、食農、農育活動を続けて行きたいと思います👍

コロナの心配が無くなったら

また みんなで集まって、楽しいイベントやろうね(マスク無しで☺)☆

暑い中 御協力いただいた

ボランティアスタッフの皆さん

ありがとうございました m(\*\_ \_)m



# 毎週、家族で収穫体験を楽しんでもらっていますよ♪

先週の日曜日に親子で #収穫体験 を行いました!!

収穫した野菜をお店の商品の様に袋詰め作業までする!

を体験して頂いています

コロナの影響で、時間差、参加者制限が必要ですが、土日のちょうどよい家族時間が出来ているようで何より!

野菜を拭いたり 綺麗に並べたりと 体験してみなきゃ分からないことってたくさんあると思うんだ!

そんな #体験の種 をたくさんバラマキしたいと思っています。





# 今週も野菜収穫体験や秋野菜の植え付けを!

宮城県を代表する野菜『まがりねぎ』

まっすぐに育てた長ネギを一度抜いて、わざわざ寝かせて植えおなす。

面倒だけど、こうすることでネギのうま味成分が高まり、火を通すと甘くなります!!

毎年みんなですらっと並んで作業しているこの仕事も・・・今年は、家族単位で楽しんでもらっています。

みんなでワイワイやるのも楽しいけど、家族単位でじっくりと学びながら楽し物もいいね♪

他にも大根や蕪などの種まき、秋どりコーンの受粉作業などをしてもらいました!!

こんな時代だけど、こういう環境下でもより子供たちが学べ、楽しめ、親子のきずなが深まる活動を続けていきたいと思っています!

